

備前市事務事業評価表

事務事業名	都市計画総括事業		コード	01-01-03-01
			担当課・係	都市整備課・都市計画係
			担当者	大森賢二
事業実施期間			電話	0869-64-1834
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	地域地区		

事業について	
目的 (何のために)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行う
対象 (誰・何を対象に)	市内居住者及び来訪者
内容	都市計画の計画や全般に関すること

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など	回数など	回数など
都市計画審議会運営	1回	0回	
都市計画事務	1式	1式	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	381	間接補助金等		直接事業費	157	間接補助金等	
	人件費	2,229	受益者負担		人件費	1,373	受益者負担	
	合計	2,610	一般財源等	2,610	合計	1,530	一般財源等	1,530

必要人員	0.26	人	0.16	人
結果指標名	都市計画審議会運営回数		都市計画審議会運営回数	
結果指標量	1	回	0	回
対前年比	-		0.00%	
活動にかかるコスト	2,610,000	円	1,530,000	円
単位当たりコスト①	2,610,000	円	#DIV/0!	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	都市の健全な発展と秩序ある整備を行うための審議		
成果指標名	都市計画審議会運営回数	式又は説明	都市計画審議会運営回数/年1回
	17年度	18年度	
成果指標量	1	0	
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	1	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 都市計画法	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	都市の健全な発展と秩序ある整備を行うことによって、均衡ある国土の発展を促し、公共の福祉の増進を図る
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	市の現状と将来を考慮し、費用対効果を常に念頭に入れて事業を検討している
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市のまちづくりの具現化となるハード整備の必要性の検討

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況		説明 都市計画審議会の開催を予定している
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 1回	結果指標量②
	成果指標量 1回	

総合評価	評価区分<A~E> C
都市計画は市の基本であるが、社会情勢の変化に応じてある程度の計画見直しを行っていく必要がある	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	計画の見直し	H22年度	都市の健全な発展と秩序ある整備